

授業支援パッケージ・収録一覧

対象教科： 小学校 第4学年 「社会科」

A) 「わたしたちのごみと資源」指導計画

- ・第4学年社会科学習指導案

<提示資料・配付物>

- ・資料① 分別品目説明カード（リサイクル学習帳） ※パワーポイント
- ・資料② スマートフォン模型教材
- ・資料③ 小型家電の回収方法（リサイクル学習帳） ※パワーポイント
- ・資料④ 小型家電のリサイクル（リサイクル学習帳） ※パワーポイント
- ・資料⑤ 小型家電の回収率 * アニメーション付 ※パワーポイント
- ・資料⑥ ワークシート ※パワーポイント

B) 小型家電リサイクルの説明映像（MPEG形式）

- ・小型家電の回収方法 →上記、資料③の補足映像
- ・回収された小型家電の処理方法 →上記、資料④の補足映像

C) 授業展開例 ※映像（MPEG形式） および映像の概要説明シート（PDF）

- ・導入 : 家庭から出るゴミの分類, 小型家電の紹介, スマートフォン模型用材の活用
- ・展開 : 学習のめあてと予想, 小型家電の価値, 調べ学習（リサイクル学習帳）
- ・まとめ : 回収方法, リサイクルのしくみ, 回収率の現状

D) 模型教材補足資料

- ・部品・有用金属・再資源化製品の一覧 ※PDF

E) リサイクル学習帳

※PDF

F) 関連情報一覧

※PDF

- ・循環型社会と法体系
- ・小型家電リサイクル法の概要
- ・小型家電リサイクル対象28品目
- ・情報提供サイトの紹介（自治体別小型家電回収情報）

第4学年社会科学学習指導案

1. 小単元名 「わたしたちのくらしとごみ・資源」 (全13時間)

2. 小単元のねらい

廃棄物の処理について、ごみの処理や利用と自分たちの生活や産業が深くかかわっていること、これらにかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められていることを調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。

3. 指導計画

	学習のねらい	○主な学習活動と内容
つかむ (3)	①ごみやその出し方に関心をもち、自分たちのごみ出しの様子を調べる。	○ごみの出し方の写真から、自分の家のごみの出し方や出しているごみの種類について考える。 ○家から出るごみの種類や日付について、調べる計画を立て、調べる。
	②自分たちが出しているごみには、地域ごとに出し曜日や種類に違いがあることに気付く。	○家庭から出るごみについて、1週間調べたごみの種類・出した日や気付いたことを話し合う。 ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源、粗大ごみ ・決められた曜日に、種類が分別されている。
	③学習問題をつくり、ごみのゆくえについて予想をし、学習計画を立てる。	○ごみの量を調べ、どのように処理されているかについての学習問題をつくる。 ・1日あたりのごみ排出量 (1人分) ・区の1日の可燃ごみの量 (501,120kg) ・年間の可燃ごみの量 (167,7647ト) ⇒ごみ収集車 1,118,431台分 ○疑問を出し合い、学習問題をつくる。
	わたしたちが出している様々な種類のたくさんのごみは、どのように処理されていくのだろうか。	
調べる (7)	④ごみの種類ごとのゆくえについて調べ、ごみの処理の大まかな流れを理解する。	○ごみの種類ごとの処理の流れを調べる。 ・可燃ごみ→清掃工場→埋立処分場 ・不燃ごみ→不燃ごみ処理センター→埋立処分場 ・粗大ごみ→粗大ごみ破碎処理施設 ・資源→リサイクルセンター
	⑤清掃工場で働く人の工夫や施設の様子を調べ、清掃工場のごみの処理について理解する。	○可燃ごみの処理の流れや清掃工場で働く人の工夫や努力を調べる。 ・清掃工場で働く人の工夫や努力 ・可燃ごみの処理
	⑥不燃物や粗大ごみの処理について調べる。	○不燃ごみや粗大ごみの処理の仕組みや働く人の工夫や努力を調べる。
	⑦資源の回収や処理について調べる。	○資源の回収方法や処理について調べる。
	⑧埋め立て処分場について調べ、埋め立て処分場の役割を理解する。	○埋立処分場で働く人の工夫や施設の様子を調べる。
	⑨⑩これまでの学習をまとめ、ごみのゆくえを図にまとめる。	○これまで学習してきたことを、「ごみのゆくえマップ」にまとめる。 ・処理の仕組み ・収集や処理に関わる人の思いや願い

授業支援パッケージ

A) 「わたしたちのごみと資源」指導計画

まとめる (2)	⑪学習問題について調べてきたことをまとめる。	○学習してきたことを振り返り、ごみや資源の処理についてまとめる。
	⑫これまでの学習を生かして、自分達にできることや呼びかけるためのポスターを作る。	○学習してきたこと基に、自分たちができること考え、ポスターをつくる。
ふかめる (1)	⑬小型家電のリサイクルのしくみと回収方法について調べ、その大切さに気付き、自分たちが地域の人と共にリサイクルに取り組もうとする態度を育む。	○小型家電の回収の仕方やリサイクルのしくみを調べる。 ・小型家電の回収の仕方 ・小型家電のリサイクルの仕組み ○これからの小型家電リサイクルに対して、わたしたちができることを話し合う。

※13時間目の「ふかめる」の段階は、指導計画の7時間目の後に資源のリサイクルとして扱ってもよい。また、調べる段階で扱う場合は、授業の後半で「これからの小型家電リサイクルに対して、わたしたちができること」ではなく、「資源の回収や処理において大切なこと」を話し合うことで3Rの意識を高めていくこともできる。

4. 本時のねらい (13/13)

小型家電のリサイクルのしくみと回収方法について調べ、その大切さに気付き、自分たちが地域の人と共にリサイクルに取り組もうとする態度を育む。

5. 本時の展開

	○主な学習活動と内容	◆指導上の留意点※評価	□資料
導入	○これまでの学習から、リサイクルできるものや、リサイクルの大切さを振り返る。 ・燃やせるごみ・燃やさないごみ・粗大ゴミ ・資源（ビン、カン、ペットボトル） ○小型家電がリサイクルできることを知り、本時の課題をつかむ。 ・主な対象となる製品 ・携帯電話のリサイクル ・携帯から回収できる主な金属	◆鉄やアルミだけではなく、小型家電もリサイクルできることに気付かせる。 ◆携帯電話をリサイクルすることで、様々な金属をリサイクルすることができることに気付かせる。	□燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源の種類 □主な小型家電製品（資料①） □スマートフォン模型教材（資料②）
	小型家電は、どのように回収され、リサイクルされているのだろうか		
展開	○予想を立て、発表する。 ・回収方法 ・リサイクルのしくみ ○小型家電の回収の仕方やリサイクルのしくみを調べる。 ・回収の仕方 ・小型家電のリサイクルのしくみ ○これからの小型家電リサイクルに対して、わたしたちができることを話し合う。 ・小型家電のことを多くの人に知ってもらう。 ・CMをつくって、宣伝する。 ・地域の人と協力して取り組む。	◆これまで学習してきたことを基に考えさせる。 ◆環境面にもふれるようにする。 ◆小型家電リサイクルの回収率の低さから、普及させるためにできることを考えさせる。	□小型家電回収方法（資料③） + 補足映像 □小型家電のリサイクル（資料④） + 補足映像 □小型家電の回収率のグラフ（資料⑤）
まとめ	○調べたことと話し合ったことを基にして、学習感想を書く。	◆自分たちにできることも書かせるようにする。	※リサイクルの大切さに気付き、これから自分達にできることを考えることができる。 □ワークシート（資料⑥）

< 提示資料・配付物 >

資料① 主な小型家電製品



<提示資料・配付物>

資料② スマートフォン模型教材



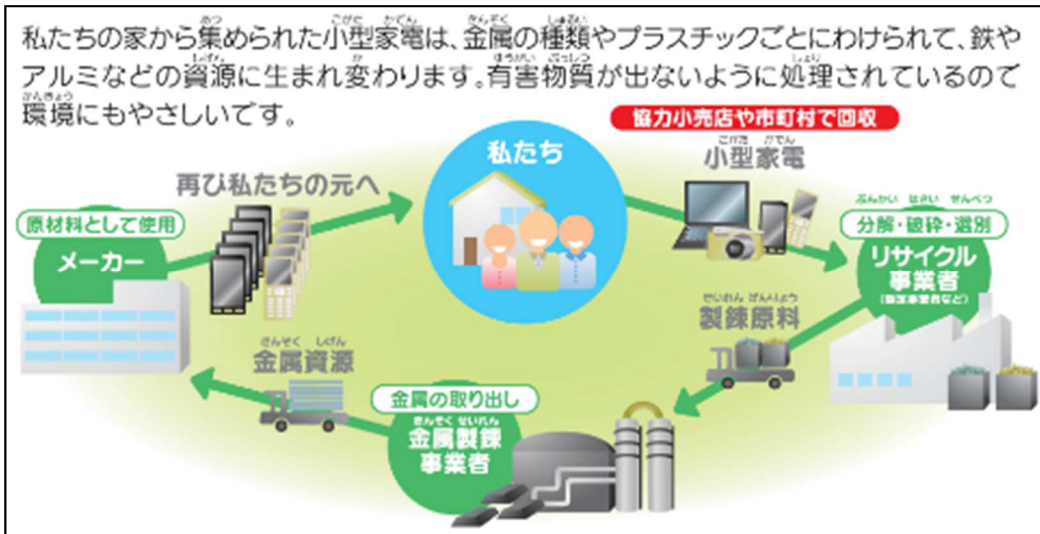
資料③ 小型家電の回収方法（リサイクル学習帳）

A:ステーション回収 B:ボックス回収 C:イベント回収

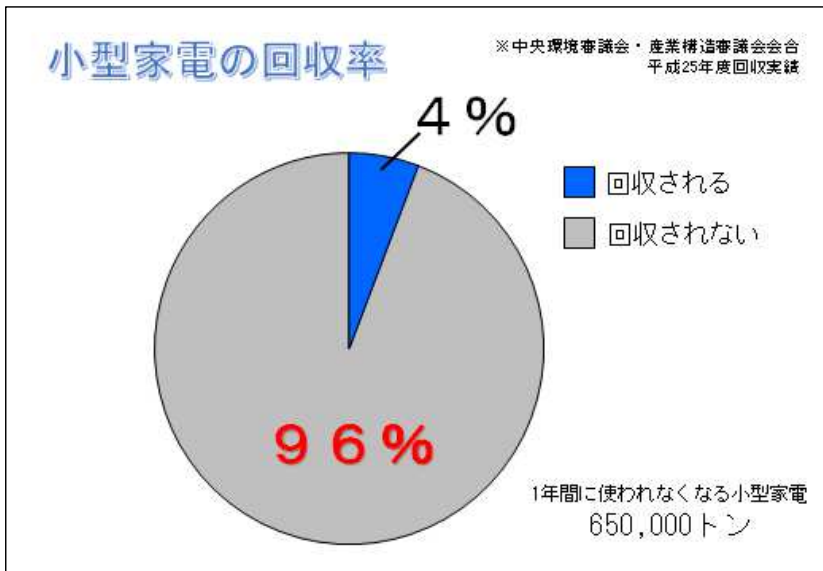
【小型家電の回収方法】

- A. ステーション回収
→さまざまなゴミと一緒に分別して回収する。
- B. ボックス回収
→ボックスを置いて、使わなくなった小型家電を回収する。
- C. イベント回収
→お祭りなどのイベントで回収ボックスを置いて回収する。

資料④ 小型家電のリサイクル（リサイクル学習帳）



資料⑤ 小型家電の回収率（パワーポイント）



<提示資料・配付物>

資料⑥ ワークシート（例）

わたしたちができること

めあて

予想

□調べて分かったこと

まとめ